

共同研究室

▶本年度(1984年4月以降85年3月迄)会員が本誌以外に発表した業績はつぎのごとくである。ただし※印のついたものは昨年度の業績である。

芦田 文夫

「社会主義国家の経済的機能」

《大阪経大論集「建林隆喜教授追悼号」》第162・163号 昭和60年3月

伊藤 正直

※「書評 八十二銀行編『八十二銀行五十年史』」

《地方金融史研究》第15号 1984年3月

※「産業組合中央金庫」「信用組合連合会」「農村信用組合」「市街地信用組合」他

拝司・牧村編『日本金融機関史文献目録』(増補改訂版)

全国地方銀行協会 1984年3月

「現代資本主義分析の方法をめぐる二、三の論点」

〔社会経済史学会編〕『社会経済史学の課題と展望』 有斐閣 1984年9月

「書評 寺西重郎『日本の経済発展と金融』」

《社会経済史学》50巻4号 1985年1月

「財政・金融構造」

大石嘉一郎編『日本帝国主義史1』所収 東京大学出版会 1985年1月

「地主経営の構造」

大石嘉一郎編『近代日本における地主経営の展開』所収

御茶の水書房 1985年3月

岩田 勝雄

「京都企業の海外進出・技術輸出入状況」

《人文科学研究所紀要》第38号 立命館大学人文科学研究所 1984年12月

上野 俊樹

「〈ネアカ〉と〈ネクラ〉が象徴する文化的意味」

《青年運動》 1984年7月

『「家族、私有財産および国家の起原」の現代的意義

——「国家二重機能論」との関係において——

- 《経済》第246号
1984年10月
「河上 肇と『資本論』」
塩田庄兵衛編『河上 肇<自叙伝>の世界』所収 法律文化社 1984年11月
論壇時評『『ハイテク・フィーバー』と資本主義美化論』
《文化評論》第285号
1984年12月
論壇時評「現実性増す“スター・ウォーズ”への警告」
《文化評論》第286号
1985年1月
論壇時評「核抑止肯定のニヒリズムの世界観」
《文化評論》第287号
1985年2月
- 小野 一郎
「社会主義国の労働組合はどうなっているのか」
『日本の労働組合運動 1——労働組合運動の根本問題』所収
大月書店 1984年10月
- 河野 快晴
「京都企業金融に関する一考察」
《人文科学研究所紀要》第38号 立命館大学人文科学研究所 1984年12月
- 川崎 誠一
with B. Gahlen and A. J. Buck, “The Variability of Relative Price Expectations,
the Rate of Inflation and the Phillips Curve”, K. Oppenländer and G. Poser ed.,
Leading Indicators and Business Cycle Surveys. Gower (England), 1984.
- 小檜山政克
『価値法則と独占価格』 新評論社 1984年4月
- 後藤 靖
「幼少年期の河上 肇」
塩田庄兵衛編『河上 肇<自叙伝>の世界』所収 法律文化社 1984年11月
- 坂本 和一
「IBMの組織改革」
《運輸と経済》第44巻第9号 1984年9月
「京都企業の組織改革」
《人文科学研究所紀要》第38号 立命館大学人文科学研究所 1984年12月

塩田庄兵衛

『レッド・ページ』

新日本出版社

1984年9月

塩田庄兵衛編『河上 肇<自叙伝>の世界』

法律文化社

1984年11月

杉野 罔明

「京都府における近代工業と工業用地」

《人文科学研究所紀要》第38号

立命館大学人文科学研究所

1984年12月

鈴木 登

「地域産業育成・振興における公共部門の政策的役割」

《人文科学研究所紀要》第38号

立命館大学人文科学研究所

1984年12月

関 彌三郎

※「経済統計をどう使うか(1)——加工(説明的採用)」

〔高木・大屋・野村編〕『経済統計学講義』所収

有斐閣

1984年2月

高内 俊一

「新刊案内 平井・一ノ瀬・橋・向笠編『現代経済における競争と規制』」

《経済》第247号

1984年11月

「80年代中葉の日本資本主義」 《経済》第250号

1985年2月

田中 宏道

「松下電器グループの生産活動の地域的展開について」

《人文科学研究所紀要》第40号

立命館大学人文科学研究所

1985年3月

戸木田嘉久

「今日の労働組合運動とイデオロギー闘争」

《労働者教育協会会報》第49号

1984年7月

「今日における経済闘争の役割」

《労働運動》第226号

1984年9月

「資本論と現代賃金論に関する覚書」

『現代の階級構成と所得分配』(大橋隆憲先生追悼論文集)

有斐閣

1984年9月

「労働組合運動は現代の危機にいかにかたちむかうか」

戸木田・大木・吉井編『日本の労働組合運動』第1巻所収

大月書店

1984年10月

日高 正好

“An Interpretation of *Sister Carrie*”

《外国文学研究》第63号 立命館大学外国語科連絡協議会 1984年10月

藤岡 惇

「情報化のもとの構造転換の意味するもの」

《経済科学通信》第42号 1984年6月

「日本における社会科学研究的動向・経済学」

《社会科学研究年報》第8号 1984年12月

三好 正巳

「労働関係と労働基準 ——西陣機業における出機を中心にして——」

《彦根論叢》滋賀大学 第228・229号（河野稔教授退官記念論文集） 1984年11月

若林 洋夫

「京都市工業構造の時系列比較統計分析（1955～1980）」

——京都経済再生論(1)——」

《人文科学研究所紀要》第38号 立命館大学人文科学研究会 1984年12月

『イギリス石炭鉱業の史的分析』 有斐閣 1985年3月